



日本国際児童図書評議会

子どもゆめ基金助成活動

世界の子どもと本を考える

2018 年国際アンデルセン賞・IBBY オナーリスト 2018 巡回講演会・共通テーマ

「世界の子どもと本はこんなに面白い！」

2018 年国際アンデルセン賞を受賞した作家・画家の作品をはじめ、
スペイン語圏や英語圏の絵本など、今話題の世界の子どもと本を紹介します。

- 講師 **宇野 和美 氏** (スペイン語翻訳家)
おおつか のりこ 氏 (英語翻訳家)

- 日時 2020 年 **3 月 14 日 (土)**
10:30 ~ 12:30 (開場 10:00)

- 会場 **南栄住宅集会所**
愛知県豊橋市南栄町字空池 1 2 5 - 1

- 対象 **一般** ■ 定員 **60 名** ■ 参加費 **無料**

- 申込 ① **まどか文庫** (担当: 渡辺則子) tel: 090-8545-8900
★ e-mail: watanabe@toyohashi-noriko.net
★ 来館: 〒 441-8108 豊橋市町畑町森田 45-23
② **JBBY 事務局** tel: 03-6273-7703



宇野 和美 氏



おおつか のりこ 氏

【講師プロフィール】

宇野 和美 (うのかずみ)

東京外国語大学スペイン語学科卒業後、出版社勤務を経て翻訳に携わる。スペイン語の子どもと本のネット書店も営み、スペインや中南米の作品の紹介に力を入れている。訳書に『ちっちゃいさん』(講談社)、『マルコとパピ』(偕成社)、『おにいちゃんとぼく』(光村教育図書)、『民主主義は誰のもの?』(「あしたのための本」シリーズ、あかね書房)、『太陽と月の大地』(福音館書店) など。JBBY 副会長。

おおつか のりこ

福島県で生まれ育つ。2007 年に『シャンプーなんてだいきらい』(徳間書店) で翻訳者としての仕事を始める。主な訳書に『モルモット・オルガの物語』『オルガとボリスとなかまたち』(PHP 研究所)、『わたしのくらし 世界のくらし』(汐文社)、共訳に『アメリカ児童文学の歴史』(原書房)、「アンドルー・ラング世界童話集」(東京創元社) などがある。JBBY 会員・やまねこ翻訳クラブ会員。



IBBY オナーリスト 2018 の表紙

「世界の子どもと本を考える」は、

81 の国と地域に支部を持つ子どもの本の組織、国際児童図書評議会 (IBBY) が隔年を選ぶ、国際アンデルセン賞と IBBY オナーリストの本を紹介し、参加者のみなさんと世界の子どもと本について考える巡回講演会です。専門分野の言語に加え、IBBY・JBBY の活動や意義、また各国の作品についてもお話します。

資料展示では、2018 年の国際アンデルセン賞受賞作家・画家の作品、並びに IBBY オナーリスト全作品が、直接手に取ってご覧いただけます。

主催: 一般社団法人 日本国際児童図書評議会 (JBBY) 東京都千代田区神田神保町 1-32 TEL: 03-6273-7703 info@jbby.org
共催: 「世界子どもの本展 in 豊橋実行委員会」(事務局「まどか文庫」) 後援: 豊橋市 豊橋市教育委員会 豊橋市社会福祉協議会
協力: 一般財団法人糸徳財団 東栄町自治会 豊橋鉄道株式会社 豊橋商工信用組合南栄支店 豊川堂 河合コロケ屋
コンドーパン シライミュージック 中川餃子店 なんえいドライ 山正山崎



2018 年作家賞
角野栄子（かどのえいこ）

「角野が過去に滞在した外国でのすばらしい経験は、想像力や創造性を育む源となり、その全てが作品に吹き込まれている」（推薦文より）



国際アンデルセン賞メダル

国際アンデルセン賞

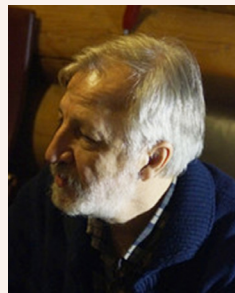
(Hans Christian Andersen Awards)

1953 年に国際児童図書評議会 (IBBY) が創設した、2 年に 1 度選ばれる子どもの本の国際的な賞です。その選考水準の高さから、「小さなノーベル賞 (A Little Nobel Prize)」とも呼ばれ、世界の児童文学に大きな影響を与えています。受賞者は、IBBY 支部が推薦した候補者の中から、国際選考委員会によって選ばれます。2018 年は、作家賞を日本の角野栄子さん、画家賞をロシアのイーゴリ・オレイニコフさんが受賞しました。

2018 年画家賞

イーゴリ・オレイニコフ

「絵の力で空想を現実に変化させ、読者に、本の中の出来事はほんとうに起こっていると思わせるのは、とても刺激的だ」（推薦文より本人談）



資料展示

世界の子どもの本展

— 2018 年国際アンデルセン賞受賞者作品・IBBY オナーリスト 2018 —

国際児童図書評議会 (IBBY) が 61 の国と地域から選んだ
50 言語、約 200 冊の世界の子ども本を展示します。
ぜひ手にとってご覧ください。

2020 年 **3/12** (木) ~ **3/17** (火)

会場：**南栄住宅集会所** (愛知県豊橋市南栄町字空池 1 2 5 - 1)

〈展示時間〉 10:00 ~ 18:00 (※最終日のみ 17:00 終了)

上: オレイニコフ作『職業のアルファベット』
下: 角野栄子作『魔女の宅急便』

IBBY オナーリスト (IBBY Honour List)

国際児童図書評議会 (IBBY) が 1956 年に創設した、世界の優れた子どもの本を集めたリストで、当初は優良賞と呼ばれていました。1980 年に「IBBY オナーリスト」と名称をあらため、以来、世界に向けて隔年で発信されています。現在は、文学作品・イラストレーション作品・翻訳作品の 3 部門からなり、IBBY 支部が、世界の子どもたちに読んでほしいと願う、それぞれの国の特徴を持つ最も優れた作品を推薦しています。

2018 年版は 61 カ国 50 言語 191 作品が推薦されました。日本からは、文学作品に古内一絵さんの『フラダン』(小峰書店)、イラストレーション作品にスズキコージさんの『ドームがたり』(文:アーサー・ビナード/玉川大学出版部)、翻訳作品に母袋夏生さんの『お静かに、父が昼寝しております: ユダヤの民話』(岩波書店)を選びました。日本国際児童図書評議会 (JBBY) は、世界の子どもの本が、世界への架け橋になると信じ、子どもたちや子どもの本に関心を持つ人たちに、直接手にとってご覧いただけるよう、IBBY オナーリストの全作品を国内で巡回しています。

上から: 『優しい大地』(英国)
『小さな女の子』(ペルー)
『アラメダ通りの南』(チリ)
『あちらとこちら』(ブラジル)

IBBY オナーリスト 2018 に選ばれた日本の 3 作品



『フラダン』



『ドームがたり』



『お静かに、父が昼寝しております: ユダヤの民話』

日本国際児童図書評議会 (JBBY) は、国際児童図書評議会 (IBBY) の日本支部として、1974 年に設立されて以来、「子ども・本・平和」をキーワードに活動を続けています。JBBY にはどなたでも入会できます。会費は国内外の子どもの本を結ぶ活動を支援しています。詳しくは JBBY 事務局までお訊ねください。「JBBY 事務局」Tel 03-6273-7703 / Mail info@jbbby.org 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32 出版クラブビル 5F